成果物の全体像

実案件由来の49診断を、意思決定に使う形へ。

依頼前に「何が届くか」を確認できるサンプル集です。住宅46診断・施設3診断の保存出力から、個票・比較・月別推移を構成しています。

区分	内容	扱い
実案件由来	原本照合済みの数値抜粋	02〜09
分析の見本	保存出力に仮定を加えた感度分析	10
業務の見本	受け渡し・確認項目のテンプレート	11〜12

匿名化：顧客・自治体・施設の名称、所在地、連絡先、診断ID、元ファイル名を非掲載。数値は原本の保存出力を使用し、表示のため丸めています。

対象は2026年8月のモデルケース試算です。実在住宅・施設の実測値、現在の料金・補助制度、将来成果を示すものではありません。

条件を揃えた比較サマリー

容量だけでなく、使う時間と設備構成を比較。

サンプル	PV / 電池	年間発電 kWh	初年度効果 円
S01	5kW / 0kWh	2,879	81,857
S02	5kW / 0kWh	2,879	51,212
S03	5kW / 10kWh	2,879	110,756
S04	5kW / 10kWh	2,879	108,470
S13	5kW / 0kWh	4,513	80,765
S14	5kW / 0kWh	4,513	58,585
S47	10kW / 15kWh	8,416	213,742
S48	10kW / 15kWh	8,378	212,771
S49	200kW / 0kWh	163,303	4,143,004

住宅は原本の光熱費メリット、施設は電気料金削減額。設備費・補助金・税・借入の条件が揃わないため、この表だけで投資の優劣は判定しません。

試算前提とデータ品質

入力値・推定値・除外事項を先に確認。

項目	保存出力の前提・読み方
データの性質	実案件内のモデルケース試算。実測実績ではない
住宅の売電	8円/kWh（保存出力の非FIT前提）
住宅の評価期間	15年。原本の料金上昇率3%/年
積雪	対象により冬季2か月または3か月を発電0
住宅の需要	月別・時間帯別モデル。実測30分値ではない
施設の需要	保存資料では365日1時間の推計
所在地	公開版では匿名化。再試算では地点指定が必要
費用・税・補助金	元条件の再確認が必要。利益・NPVは非表示

入力用データを読み込んだ診断画面で「実データ利用」と表示されても、そのデータが推計値なら実測値とは呼びません。由来を別欄で明示します。

住宅の個票：昼型・夜型

同じ5kWでも、昼間の使用量で結果が変わる。

項目	S01 昼型	S02 夜型
太陽光 / 蓄電池	5kW / なし	5kW / なし
年間需要	5,760 kWh	5,760 kWh
年間発電	2,879 kWh	2,879 kWh
初年度光熱費メリット	81,857 円	51,212 円
15年累積メリット	1,491,458 円	894,882 円

共通：南向き垂直設置、1〜3月の発電量0、売電8円/kWh。変えた条件は昼型・夜型の生活パターンです。

次に確認すること：昼間の在宅・給湯・充電の実態。時間帯別の需要を確認してから、設備容量や蓄電池の追加を判断します。

太陽光と蓄電池の比較

自家消費と費用対効果は、別々に確認。

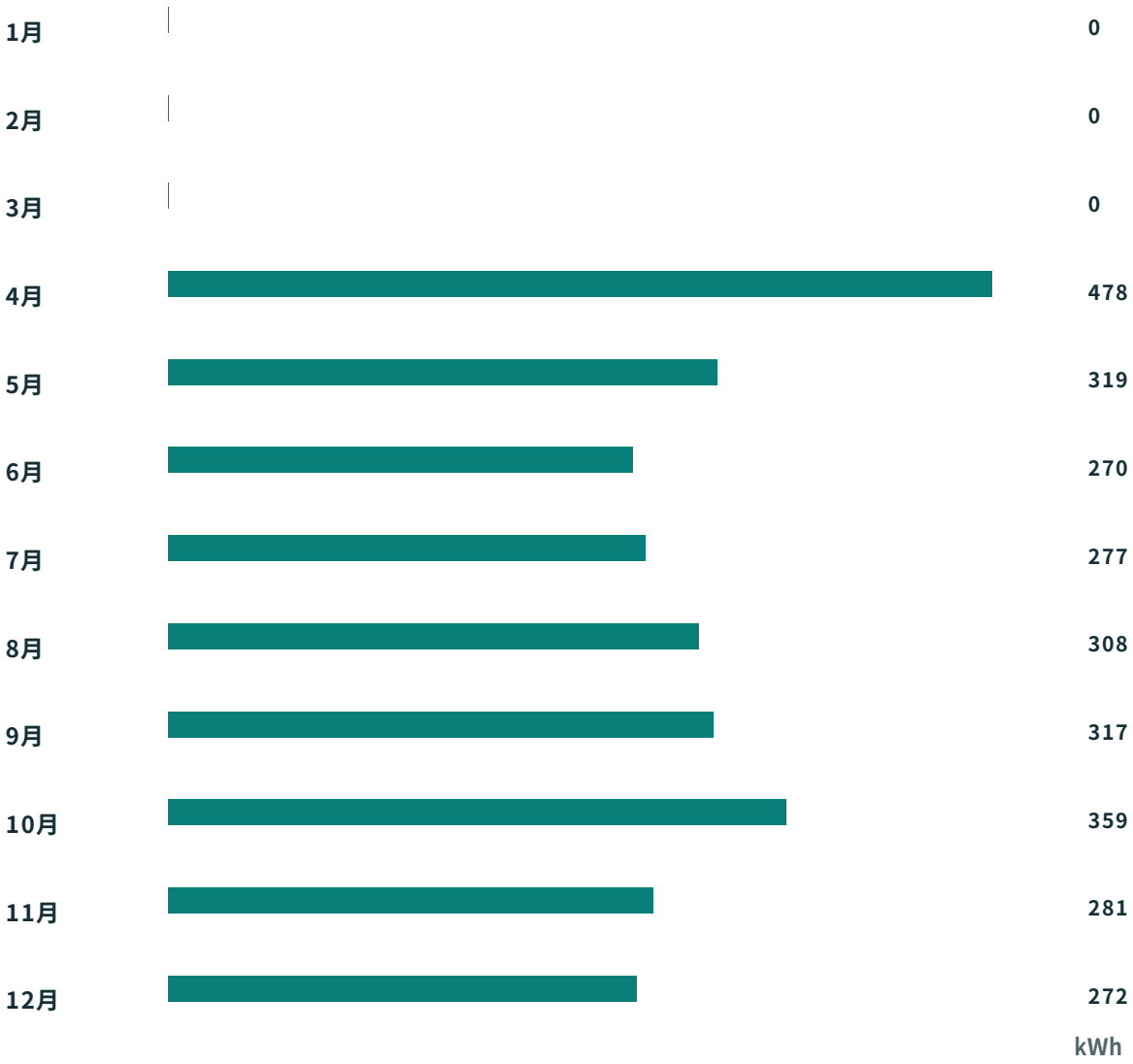
サンプル	構成	初年度効果	15年累積
S01	PV5kW / 電池0kWh	81,857円	1,491,458円
S02	PV5kW / 電池0kWh	51,212円	894,882円
S03	PV5kW / 電池10kWh	110,756円	2,059,966円
S04	PV5kW / 電池10kWh	108,470円	2,016,497円

S01/S03が昼型、S02/S04が夜型。S03/S04は10kWh蓄電池を追加したモデルです。

光熱費メリットの増加だけでは、蓄電池追加の採否は決まりません。追加設備費、交換費、補助金、停電時に使いたい負荷と継続時間を揃えて再評価します。

月別の発電量レポート

冬季の停止条件を、グラフと前提の両方で表示。



S01：5kW、南向き垂直設置。1〜3月を発電0とした保存出力。0は欠測ではなく、この試算で置いた積雪条件です。

15年間の経済効果

累積の光熱費メリットと投資収支を混同しない。

経過年	S01 昼型	S02 夜型
1年	81,857 円	51,212 円
3年	252,229 円	156,836 円
5年	431,928 円	266,944 円
10年	925,792 円	563,659 円
15年	1,491,458 円	894,882 円

原本の長期シミュレーションから累積光熱費メリットを抽出。年3%の料金上昇を仮定した結果です。

設備投資費、維持更新費、借入、税等を控除した純利益・投資キャッシュフローではありません。投資判断用の納品では、それらを別表で整合させます。

産業用・施設の個票比較

施設用途と設備構成を揃えて結果を読む。

サンプル	S47	S48	S49
用途	農業用施設	農業用施設	中規模工場
PV / 蓄電池	10kW / 15kWh	10kW / 15kWh	200kW / なし
設置	切妻	片流れ	野立て
年間発電	8,416 kWh	8,378 kWh	163,303 kWh
年間電気料金削減	213,742 円	212,771 円	4,143,004 円

いずれも1〜3月の発電を0としたモデル。施設の負荷・容量が異なるため、削減額の大きさだけで施設や工法の順位は付けません。

電気料金の月別比較

年間の効果を、月別の内訳までたどる。

期間	導入前 円	導入後 円	削減 円
1月	189,640	189,640	0
2月	180,227	180,227	0
3月	180,481	180,481	0
4月	173,479	143,481	29,998
5月	170,460	138,399	32,061
6月	166,781	137,821	28,960
7月	164,752	135,747	29,005
8月	164,752	137,464	27,288
9月	170,079	147,705	22,374
10月	172,769	153,353	19,416
11月	177,056	164,376	12,680
12月	192,456	181,467	10,989
年間	2,102,932	1,890,161	212,771

S48のBiz「導入効果」保存出力。表示値の丸めで月別合計と年間に差が出る場合があります。

感度分析：削減額の変動

条件が変わったときの幅を先に確かめる。

仮定	年間削減額	基準との差
-20%	170,217 円	-42,554 円
-10%	191,494 円	-21,277 円
+0%	212,771 円	+0 円
+10%	234,048 円	+21,277 円
+20%	255,325 円	+42,554 円

分析の見本：S48の年間削減額212,771円を基準に、削減額そのものを±10%・±20%動かした単純な感度です。計算式＝212,771×（1＋変動率）。

発電量や電気料金を変えてエネがえるで再診断した結果ではありません。正式な感度分析では、設備費・発電量・単価・需要・補助金を分けて再試算します。

業務フローと役割分担

誰が何を渡し、どこで確認するか。

工程	ご依頼者	BPOチーム
1 相談	目的・対象・希望期限	対応範囲の確認
2 見積	優先順位・予算	件数×パターン・納品仕様
3 入稿	明細・図面・条件	不足・推定・矛盾の整理
4 前提合意	採用条件の確認	入力一覧・比較軸の固定
5 試算・比較	変更条件の確認	診断出力・比較・感度
6 確認・納品	受入確認	根拠・数値・ファイル照合
7 活用	提案・稟議・施策	追加条件の再試算を相談

業務設計の見本です。工程・担当・納期・修正回数は案件ごとに合意します。申請・現調・設計・事務局の追加範囲は個別見積です。

依頼仕様・納品物チェック

見積と納品の認識を、同じ一覧で揃える。

確認すること	依頼仕様へ記載する項目
対象と件数	施設数・住宅数と、1対象あたりの比較条件数
判断したいこと	容量、設備構成、料金、自己所有/PPA等
原本と前提	採用版、期間、単位、実測/推定、税
成果物	標準診断、前提表、比較表、個票、感度分析
追加分析	NPV/IRR等は主体・期間・費用・割引率を合意
受入条件	数値照合、匿名化、形式、修正範囲、期限
対象外	構造安全・法令判断・採択保証等は別確認

PDFは説明・閲覧用です。再計算できるExcelが必要な場合は、変更可能セル、計算範囲、利用条件を見積時に指定してください。